

Daiouin

Autumn
2026

MYOUSHINJI KYOTO



禅のこと。お寺のこと。大雄院のこと。
めぐり来る季節の光と風が、皆の道をやさしく光らせるものでありますように

INFO

妙心寺大雄院

〒616-8035 京都市右京区花園妙心寺町52

TEL : 075-463-6538

Instagram : @daiouin

大雄院 秋の特別拝観

当院は通常非公開寺院です。春と秋に特別公開期間あり。
今回は短歌の展示、短歌に関わるイベントを合わせて開催。

禅寺×短歌

今回の秋の特別拝観では、歌人木下龍也氏の短歌の展示を同時開催いたします。

禅寺に身を置き、呼吸を調えて、身体を調えることで、心が調います。日常から少し距離をとって、心を調え、お寺という場に於いて、ことばに出会う。

短歌は千三百年も続いてきた、どうにもこうにも日本人の心を掴んでしまう五七五七七の句形を持つ詩です。大雄院で短歌を鑑賞し、木下さんのことばを受け取っていただくことで、短歌を知る方も知らない方も自分なりの距離感で短歌に親しみ、共感とときめきを以て、短歌を心の栄養として、その身のどこか奥に小さな幸せを灯して欲しいと願っています。

従来通り、庭園や襖絵の拝観もしていただけます。秋の禅寺でのひとときをぜひお過ごしにおいでください。

大本山妙心寺塔頭大雄院 秋の特別拝観2026

【期 間】

令和8年11月7日(土)～29日(日)

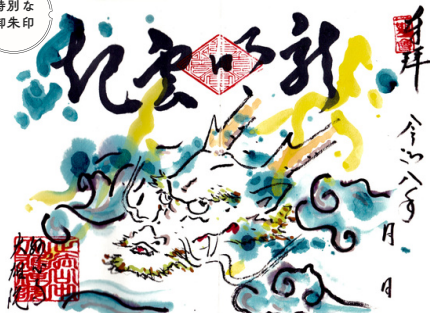
【時 間】 10時～16時 (最終受付)

※11/8のみ14時閉門

【拝観料】 1000円

所在地：京都府京都市右京区花園妙心寺町52
TEL:075-463-6538

特別な
御朱印



▶住職が直筆で描く墨書き御朱印/「龍吟雲起」要予約
授与開始 11/7～

特別拝観詳細
体験・御朱印予約
こちらから



拝
観
料

開
門
時
間

千
円

8 日
の
み

14 時
閉
門

10 時
ー
16 時

※ 最
終
受
付

2026

11

7

(主)

29

(日)

木下龍也短歌展

山として坐れば

秋の特別拝観
大雄院

臨濟宗大本山妙心寺

Tatsuya Kinoshita Tanka Exhibition

Daiouin

Head temple of
the Rinzaï sect
Myoshin-ji Temple,

短
歌

tanka

禪
語

zenko

千種の花の丸襖絵 / 大雄院椿 Camellia "daiouin" 河骨 Cow lily

現代短歌の申し子
歌人 木下 龍也



花束を抱えて乗ってきた人のためにみんなでつくる空間

こころつていつもからだについてきて歩行の邪魔をするかららしい

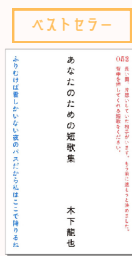
はなびらはやさしい地雷 踏むたびに胸のあたりがわずかに痛い

立てるか い 君が背負っているものを君ごと背負うこともできるよ

風になる前に教えてくれないか風になつたらどこを吹くのか



『オールアラウンドユー』
ナナロク社/1,980円



『あなたのための短歌集』
ナナロク社/1,870円



『きみを嫌いな奴はクズだよ』
書肆侃侃房/2,090円

素晴らしいタイトル。
第2歌集 (2016年) 中身は更に。



『つむじ風ここにいます』
書肆侃侃房/1,870円

衝撃のデビュー作。
第1歌集 (2013年)

短歌という句形におさまったその31文字の詩は、心の奥の方、自分自身しか知らない場所、自分で気がついてさえいなかった、なんだかやわらかい部分に刺さってしまうことがある。一瞬で。一首を目で追った数秒のうちに。刺さることがあれば、撫でられることもある。殴られることだってある。それでも、その瞬間、心を揺さぶったのは短歌そのものではなくて、自分の中に初めからもっていた何かだ。

ふだん、特に意識することもないけれど、自分が生きてきた時間の中で知らずにためこんで、あたためて、自身の内側の無意識の質感みたいなものたちが、木下龍也の短歌をトリガーとして姿を現す。胸の真ん中からドクンと現れて、じんわり広がって、無意識が意識になる。

わたしがもっとも好きな禅語のひとつに“一切唯心造”という言葉がある。

“この世のすべて、目に映る一切は自分の心が造り出しているものである”という意。物質的絶対世界は存在しているはずなのに、みんな自身の目と意識を通してしかこの世界を認識できないのだ。言葉はある、教えはある、世界は存在してる。しかし、それをどう読むか、どう捉えるか、どのような世界にするのか。わたしが心の中にもつものがわたしの世界を造る。心が自由になれば、人生は自由で、豊かだ。縦横無尽の感性をもてば、世界はどこまでもどこまでも、美しい。

短歌もまた、一切唯心造ではないか。目の前のその歌に世界をどうみるのか、何を、どのように感じるかは自分の心次第、歌の奥には自分の心の余白という無限の拡がりがある。目で実際にみえていることや、今、頭で考えていることだけが、あなたの世界のすべてではないんだよ。短歌に触れると呼び起こされる寂しさやあたたかさがある。たくさんの人に短歌に触れてほしいと願う。木下龍也さんの短歌はたくさんの人をそういう境地に連れて行くことができる。

その一首がそれぞれの自分に、大切な歌だと思わせてくれる。

これまで短歌に向き合い、打ち込み、素晴らしい一首を世界に添えてくれた木下龍也さんに敬意を表します。そのおかげで、わたし達はその短歌に出会うことができます。

短歌をつくる方々みんなに敬意を表します。

短歌は素晴らしい。これまでもこれから、だれかを慰め、笑わせ、悲しませ、怖がらせ、宇宙を旅させて欲しい。

世界はどこまでもどこまでも、美しい。

(文/石河 恵)



木下龍也（きのした・たつや）

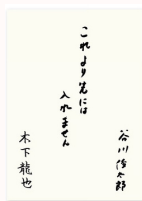
1988年山口県生まれ。東京都在住。歌人。歌集は『つむじ風、ここにいます』『きみを嫌いな奴はクズだよ』『オールアラウンドユー』『あなたのための短歌集』。その他、短歌の入門書『天才による凡人のための短歌教室』や谷川俊太郎との共著『これより先には入れません』など著書多数。2025年度NHK Eテレ「NHK短歌」選者。

2011年より作歌を始め、雑誌や新聞歌壇などに投稿を始める、2013年に第1歌集『つむじ風、ここにいます』を発表し、一般から募集したお題を短歌にした『あなたのための短歌集』は重版を重ね、現在16刷。若い世代を含め幅広い支持を集める。

最新作/



『夜をゆく舟が他にもあることを
教えるために歌はひかった』
講談社/1,980円



『これより先には入れません』
ナナロク社/1,870円

の詩人谷川俊太郎と歌人木下龍也という対比で、真剣勝負(2026年)

秋の特別拝観では、いつもお世話になっている、大好きなお店とのコラボレーションを企画いたしました。10年来のお付き合いのカフェHOMEさんはプチサテライト会場として、木下さんの短歌を展示いたします。短歌をご縁に、すっかり仲良くさせていただいている喫茶結社さんには木下龍也文庫を展開中。季節ごとに美しくおいしい上生菓子を手作りいただく塩芳軒さん、いと達さん、そして以前からお願いしていたと思っていた青洋さんに、それぞれ木下さんの短歌を元にオリジナル上生菓子を作っていただきます。お楽しみに！お店へもぜひお立ち寄りください。

短歌好きの店主がいます



パーラー 喫茶結社

コーヒーとハヤシライスが香り、カセットテープで音楽が流れる喫茶店。どんな言葉よりも誰かが淹れる一杯が必要なときに。

11月27,28,29日 上生菓子あり☑



塩芳軒

明治15年（1882）創業
京都西陣、聚楽第跡の一角に店をかまえる老舗。御菓子司 塩芳軒



HOME

妙心寺から徒歩5分。龍安寺駅路地裏のカフェ。旬の野菜や果物、ごはんやおやつ。HOMEという名がびったりで居心地最高。

木下さんの一首が展示されます



御室和菓子いと達

仁和寺近く住宅街に佇む小さな和菓子店。生菓子は注文後にその場で作っていただけます。

11月28,29日 上生菓子あり☑



和菓子店 青洋

📍 京都市北区紫竹西野山町54-1
📞 ご確認ください
📱 SNS : wagashimiseiyou.com
🕒 不定期

11月14,15日 上生菓子あり☑

禅語に親しむ 一

独坐大雄峰

独坐大雄峰とくざだいおうほう

当寺院名の由来となった禅語です。八世紀頃、中国の高僧百丈懷海和尚に修行僧が尋ねた。

「この世で最も尊く有難いことは何でしょうか」と和尚曰く「独坐大雄峰」独坐は、独り坐っているということ、大雄峰は百丈和尚の寺がある大きな山のこと。「今、この山に、わたしがデンと坐っている。この瞬間にわたしが存在している。この事が何よりも尊く有難いことだ」生まれてきた事が何よりの奇跡で自分が只々存在している事が、何よりもありがたい。生きているから、この世界を視る

ことができ、美味しいものを食べ友ができる。生きているから悲しみ、喜び、悩み、幸せを感じる事ができる。自分自身を生きる事ができるのは、この世界中誰でもなくこのわたし。ただ独りである。

「○○だから、素晴らしい」

「○○だから、ダメ」

といった、人の価値をはかり決めるような、どこか歪な言葉が溢れていますが、自分の価値をどうか見失わずに……

物や人に頼ろうとする時、独りになることはできません、わたし個人の喜怒哀楽は全ての人の心性でもあり、一人は仏も凡夫も万人の心奥をひっくり返す独りです。自己の外に求める、なにもものもないという満たされた独りの自覚以上に奇特なことがありますか。

大雄院 石河法寛



大雄院三世住職萬拙和尚による墨蹟“独坐大雄峰”/1600年代/大雄院蔵



紅葉するドウダンツツジとなかよし地藏

和尚さんのお寺豆知識

追善供養の心得

善行を自分にではなく、まずご先祖様に振り向けることにより、ご先祖様の善行となると同時に、ご自分の善行になるのです。

和尚より

卒塔婆（そとば）

故人やご先祖様を供養するために戒名などが書かれた細長い板のこと。サンスクリット語の「ストゥーパ」が語源。お釈迦様の遺骨を納めた仏舎利塔に由来している。上部が5つに分かれている形状は、五重塔を簡略化したもので、上から順に「空・風・火・水・地」という仏教の五大思想（宇宙を構成する5つの要素）を表している。

五輪塔と卒塔婆



お知らせ

永代供養塔
大雄院観音像



妙心寺大雄院 Schedule

9月	令和8年 秋季彼岸会	9/23
	音庭 禅寺の音楽会	9/27
10月	趙 磊 二胡演奏会	10/11
11月	秋の特別拝観-木下龍也短歌展-	11/7-29
2月	千支御朱印授与	未定
3月	令和9年 春季彼岸会	3/20
2026 下半期 坐禅会予定		
10月17日(土)	6:30~	12月5日(土) 6:30~
2月6日(土)	6:30~	3月13日(土) 6:30~

●合祀：1霊位 15万円 / 2霊位 25万円～ ●分祀：1霊位 45万円～ / 2霊位 67万円～
檀家でなくともご供養いただけます。
お気軽にお問い合わせください。(大雄院：075-463-6538)

Homepage



[Daioin.com](https://daioin.com)

online shop



[daioinonline](https://daioinonline.com)

Instagram



@daioin

詳しくはこちらから

行事情報

2026 11/7(土) - 29(日)

大雄院 秋の特別拝観

臨濟宗大本山妙心寺

山として坐れば 木下龍也 短歌展

短歌 禅語

Daioin

千種の花の友賛助 / 観音月 Tree poetry

Head temple of the Rinzai sect in Japan

拝観時間 10時~16時 ※最終受付 8日のみ14時閉門

音庭 -otoniwa-

— 禅寺の音楽会 —

【出演】
斎藤孝太郎 (チェロ)
和田建一郎 (ギター)
佐藤拓馬 (ピアノ)

9/26(土) 妙心寺 長慶院 18:30 開演 ¥4,000

9/27(日) 妙心寺 養徳院 8:00 開演 ¥2,000

9/27(日) 妙心寺 大雄院 14:00 開演 ¥5,000

★ 3会場通し券 10,000円 ★

web site <https://otoniwa.myportfolio.com/>
お問い合わせ saimusic.m10@gmail.com

主催 SAI MUSIC、大雄院、長慶院、養徳院

大雄院の特別拝観などのポスター、チラシを設置してくれる方 随時募集しております daioin1603@gmail.com まで